



第140号

発行所 (一社)千葉食品コンビナート 協議会事務局
発行責任者 増田 清次
所在地 千葉市美浜区新港 31
TEL 043 (242) 1655

空き缶・タバコ・ゴミの投げ捨てはやめましょう

第四十二回 通常総会開催



西岡署長より「労働災害について」千葉市産業振興財団の森山氏より「従業員の福利厚生について」の説明があった。引き続き開催された理事会において、役付き理事の互選が行われ、会長に山根

第四十二回通常総会が、平成二十八年五月十六日(木)午前十一時から「オークラ千葉ホテル」において会員多数出席のもと開催されました。はじめに、事務局から会員三十二社全社参加により総会の成立の報告後、会長挨拶、ご来賓の皆様方のご紹介、また、千葉市経済農政局経済部産業支援課課長補佐の高瀬 大様より、顧問である熊谷市長マッセージ(三面に掲載)の代読をいただきました。議長に沼山会長がなり議案の審議に入った。第一号議案、平成二十七年事業報告並びに収支決算報告等の事務局の説明、百瀬監事の監査報告があり、原案どおり承認可決された。第二号議案平成二十八年事業計画並びに収支計算書案についての詳細な説明があり原案どおり承認可決された。第三号議案の役員選任については、今期役員任期満了に伴い理事選任が行われ、候補者は原案どおり承認可決された。総会終了後、千葉労働基準監督署、



学氏、副会長に山田修氏、常務理事に上田恵治氏が選任された。正午から会場を移し三階エリーゼにおいて懇親会が開催されました。懇親会には、来賓

の方々をはじめ多数の会員出席のもと、新山根会長の挨拶、農林水産省食料産業局食品製造課 課長補佐、松嶋喜昭様からは、「千葉食品コンビナートは、原料輸入、製造、加工、出荷と協調を図り安心・安全な食品を提供し、国民の豊かな食生活に寄与されていることに敬意を表します。食品の輸出につきましては、着実に伸びており、平成二十七年の輸出実績は七、四五一億円と平成二十八年に七、〇〇〇億円という中間目標を一年前倒しで達成できました。また、訪日外国客は、一、九七三万人で国内のマーケットに加え海外のマーケットをこの協議会の強い絆で獲得していただきたい」また、千葉県商工労働部産業振興課室長、木村文和様からは「千葉食品コンビナートは、国内最大の食品コンビナートであり、様々な食品の高品质で安全・安心、我が国の豊かな食品の供給に重要な役割を果たしている。コンビナートでは人材育成、環境整備、福利厚生等お手本となる事業を展開している。首都圏中央道の一部開通、外環道の松戸、市川間が来年

- 開通、千葉港の整備拡張等各企業の安定事業になるかと思っている。これからも皆さんの声を聴きながら進めていき、事業環境改善につながるよう取り組んで行きたい」等の祝辞があり、沼副会長からは、「千葉食品コンビナートが五十一年の一步踏み出したのは、官公庁のご指導と会員の皆様の協力があってのこと、今後も一年ごとのパトントッチが大切。今後の協議会の発展と各社の隆盛を祈念して」との力強い発声で乾杯、歓談に入った。午後一時、盛り上がりの中の、山田副会長の中締「あたらしく副会長に選任されました。千葉食品コンビナートは素晴らしい会社が集まりであります。厳しい時代ですが会員が協力し、関係官庁のご指導をお願いして中締め」と第四十二回通常総会懇親会は滞りなく終了した。
【ご来賓】
農林水産省食料産業局、食品製造卸売課 課長補佐 松崎 喜昭様
農林水産省食料産業局、食品製造卸売課 齊藤 京子様
千葉県商工労働部、産業振興課 産業企画室 室長 木村 文和様
千葉県商工労働部、産業振興課 産業企画室 主査 増田 幸子様
千葉市、経済農政局、経済部産業支援課 課長補佐 高瀬 大様
千葉市、経済農政局、経済部産業支援課 主査 佐藤 正則様



会長挨拶



沼山 勝己

千葉製粉株式会社代表取締役社長

一般社団法人千葉食品コンビナート協議会会長の沼山でございます。

ご来賓の皆様方には、ご多用の中をご臨席いただきまして、誠に有難く厚くお礼申し上げます。

会員各社の皆様方も、お忙しい中お集まりいただきまして誠に有難うございます。

食品コンビナートの運営・推進にあたりましては、関係行政当局のご指導・ご支援をいただき、また、会員各社のご協力に感謝申し上げます。

千葉食品コンビナートは、昭和三十九年、日本で初めて最大の食品工業団地として千葉市に造成され、約九十九ha(三十万坪)の用地を確保、多くの食品関連企業が進出、現在の臨海型食品コンビナートが形成されました。

今後も、会員企業連携のもとに、食生活に安全でより良い食品を安定供給する基地としての役割を担い、今後もその使命を果たすべく、会員企業各社の協働体制のもと、コンビナートの発展に努力して参りたいと存じます。

さて、国内経済の動向は、緩やかな回復基調が続いているものの、日銀短観を見ると三ヶ月先については大企業製造業、非製造業いずれも景気の先行きに不安感が強いとしております。

現在為替は円高が進み一〇八円前後で推移しており、株価は乱高下で現在は一万円六千円前後で推移しております。食料品製造業は、大企業、中小企業は好調に推移しているとのことです。が、実感としてはあまり感じられませんが、

TPPにつきましては、昨年十月に大筋合意となり、重要五品目を中心に有効な措置を獲得することができたとの発表があり、二月に協定文に署名をしましたが、承認案と関連法案に關し秋の臨時国会へ持ち越し、消費税についても増税の延期との話も出てきております。

千葉食品コンビナート協議会では、

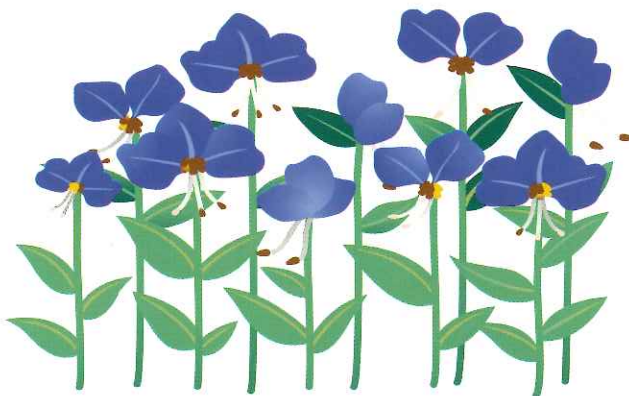
昨年七月に引き続き農林水産大臣から平成二十七年食品工業団地として認定されました。主な活動は、港湾、計量事業を始め、食品工業団地の環境美化清掃活動、新入社員合同研修会、野球大会等実施いたしました。

今後とも、関係当局のご指導・ご支援をお願い申し上げ、当協議会として諸課題に対応していく所存でございます。会員各社の一層のご支援、ご協力をお願いする次第でございます。

本総会では、①平成二十七年の事業報告並びに収支決算報告について、②平成二十八年度の事業計画案並び平成二十八年度収支計算書案について、③役員を選任について、この総会の議案として上程し、お諮りすることにしております。

宜しくご審議の程お願いいたします。最後に、ご列席の皆様方のご健勝並びにご発展を心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

以上



千葉市長メッセージ

千葉市長 熊谷 俊人

(千葉食品コンビナート協議会顧問)



本日、千葉食品コンビナート協議会四十二回通常総会がこのように盛大に開催されましたこと、心からお喜びを申し上げます。皆様方には、日頃から、わが国の豊かで安全な食品の供給を中心に、市民生活に大きく貢献されておりますこと、また、市政各般にわたりますして多大なるご理解・ご協力を賜っておりまして、心から敬意と感謝の意を表する次第でございます。

さて、千葉市政に関しましては、引き続き、財政健全化や行政改革の取組みを着実に推進するとともに、昨年、国家戦略特区に指定されたことを受け、ドローンをはじめとした近未来技術を活用したまちづくりの推進に取り組んで参ります。

また、地域経済の活性化については、引き続き全国トップクラスの企業立地補助制度及び融資制度を運用し、市外企業を誘致するだけでなく、市内の企業様による拠点の拡充に係る追加投資に対しても、支援をさせていただいているところであります。コア業種特例とし、「食品製造業」を営む企業様は税に係る補助期間を「プラス一年」の延長措置を行う他、新港地区に限ったの補助要件緩和など、利用しやすい制度設計に努めておりますので、引き続き安心して、ご投資、ご操業していただきたいと考えております。

業界全体がさらなる発展をされますよう、ご期待申し上げますとともに、本市経済の振興におきましても、一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、千葉食品コンビナート協議会様のますますのご発展と、会員企業様の皆様のご活躍を心から祈念いたしまして、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

千葉市企業立地セミナー

平成二十八年三月二十五日大手町ファーストスクエアカンファレンスにて「千葉市企業立地セミナー」が開催され当協議会会員の日新製糖株式会社 代表取締役執行役員副社長 住井昌三氏が「千葉市における当社グループの《こ



講演の住井昌三氏と熊谷千葉市長

れまで」と《これから》と題し講演されました。また、千葉市の補助金の効果について、雇用拡大は地域の発展に不可欠「コーヒー・紅茶を飲むときはお砂糖を入れて」とユーモアを交え講演され皆様から笑いを誘っていました。講演後、千葉市長とパネルディスカッションを行いました。当日の当協議会からの参加者は十五名でした。

食品工業団地形成推進事業

食品工業団地の認定

今年度の食品工業団地形成実施計画及び前年度実施状況報告書を、六月八日に農林水産大臣に提出致しました。

会長就任のご挨拶

山根 学 (千葉共同サイロ株式会社代表取締役社長)



年初来の株安と円高の傾向はここ最近ますます日本経済に暗い影を落としております。一方、TPPは一応の決着は見たものの、米国新大統領の意向により何らかの変動要素はあるかも知れません。然しながら、日本最古にして最大の当コンビナートは関東圏の食を支えるという大きな責務を今後とも全うすることが肝要です。

先の第四十二回通常総会後の理事会におきまして第十二代目の一般社団法人千葉食品コンビナート協議会の会長を仰せつかりました。私が勤務する千葉共同サイロ株式会社は来年初立五十周年を迎えます。私が当社に参りましたのは、二年前でございますが、平成二十七年五月に協議会副会長として就任し勤めてまいりました。今回は沼山前会長のご退任の後を受けて、大役をお引き受けした次第ですが、長年会長職を勤められた前会長に比べて、経験能力とも覚束ないところがあると思えます。皆様の更なるご指導、ご支援を切にお願いする次第で御座います。

当会としましては、会員企業連携のもとに、「食の安全・安心・安定」の基地としての役割を担い、更なる発展に努力してまいります。また地域社会との共存共栄を図りながら、より一層食品コンビナートの活性化にも努力して参りたいと存じます。

沼、山田両副会長をはじめ役員の方々に支えて戴く新体制にて、今後も関係ご当局のご指導を仰ぎながら、千葉食品コンビナート協議会の適切な運営に努力していく所存でございます。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

退任のご挨拶

沼山 勝己 (千葉製粉株式会社代表取締役社長)

去る五月十六日に行われました第四十二回通常総会後の理事会におきまして食品コンビナート協議会の会長を退任いたしました。

平成二十二年五月に食品コンビナート協議会の会長に就任、六年間の在任期間でございましたが、振り返って見ますと、一般社団法人の移行に関する法律により、平成二十五年四月一日付にて「一般社団法人 千葉食品コンビナート協議会」に移行し、公益目的の支設計画が平成二十七年三月三十一日に完了しました。

農林水産省様には、毎年の農林水産大臣の認定では大変お世話になりました。

千葉県商工労働部様とは臨海北部連絡協議会での会長職を務めさせていただき、千葉市経済農政局様には、緑地面積率の規制緩和に向けていろいろとご配慮をいただき、企業立地補助制度では会員企業が大変お世話になっております。

また、一昨年十二月に当会が創立五十周年を迎え、昨年一月に創立五十

周年記念式典を執り行い、多数のご来賓の方から祝福を賜りました。特に千葉県知事・千葉市長様からは感謝状を賜り厚く御礼申し上げます。これらは官公庁様をはじめ関係諸団体並びに係者各位、会員企業の皆様のご協力があったことでございました。あらためまして御礼申し上げます。

千葉港では、千葉港旅客船用棧橋が四月に完成し、今後海辺の観光地としての町の活性化につながると思えます。来年以降に棧橋が一基増設され多数の観光船が航行されることになり外国船、国内船の出入りで安全航行など残されました課題もございしますが、後任の山根新会長に引き継ぎをお願いすることといたしました。今後も理事として携わってまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

会長在任期間中は、各役員の方々および会員企業の皆様にご協力、ご支援をいただき心より感謝申し上げますとともに、会員企業のますますのご繁栄を祈念いたしまして退任のご挨拶とさせていただきます。

役員

平成28年6月30日現在

(役員の様職は各社株主総会後)



会 長 山根 学
(千葉共同サイロ(株)代表取締役社長)

港湾部会長 中島 照次
(日本サイロ(株)取締役総務部長)

副 会 長 沼 隆志
(新東日本製糖(株)代表取締役社長)

労働部会長 能勢 信幸
(千葉製粉(株)総務部長)

〃 山田 修
(日本タンクターミナル(株)代表取締役社長)

計量部会長 坂田 康朗
(千葉共同サイロ(株)常務取締役)

常務理事 市川 孝博
(日清製粉(株)千葉工場長)

陸上部会長 前原 章二
(山崎製パン(株)千葉工場総務課長)

〃 加藤 丈明
(日本サイロ(株)代表取締役社長)

総務部会長 高岡 良史
(古谷乳業(株)取締役総務部長)

〃 上田 恵治
(山崎製パン(株)執行役員千葉工場長)

用排水部会長 石井 壽久
(不二製油(株)千葉工場長)

理 事 沼山 勝己
(千葉製粉(株)代表取締役社長)



〃 飯塚 裕之
(日新製糖(株)総務部長)

退任役員

○理事退任

〃 白鳥 悟嗣
(白鳥製菓(株)専務取締役)

常務理事 喜多 哲夫
(サミット製油(株)代表取締役社長)

〃 村川 衛
(ミヨシ油脂(株)千葉工場長)

理 事 吉田 雅俊
(ミヨシ油脂(株)執行役員千葉工場長)

〃 金澤 範和
(サミット製油(株)代表取締役社長)

理 事 川井 光之
(千葉県米穀(株)代表取締役社長)

〃 横川 聰
(千葉県米穀(株)監査役)



○部会長退任

監 事 百瀬 清一
(オリエンタル酵母工業(株)千葉工場長)

総務部会長 齊藤 昭
(古谷乳業(株)社長室長)

〃 小野 守
(株)マルハニチロ物流千葉物流センター所長)

用排水部会長 大野 政弘
(不二製油(株)千葉工場長)

第 21 回 新入社員合同研修会

第二十一回新入社員合同研修会が四月二十一日(木)・四月二十二日(金)の二日間、千葉市生涯学習センター開催された。

講師は、社員研修を毎回お願いしているオフィスプレイズ代表の目賀田美奈子先生です。今回の参加者は、参加五社で男性十二名、女性十三名の計二十五名となりました。



研修内容は、企業の求める人材は「コミュニケーション能力・知識・行動力・熱意」そしてCFCの求める社会人として、自ら考え積極的に行動すること。他人を頼るのではなく、自分の力で進むことの重要性を強調しました。また、生産現場に必要な「5S・5定」を研修の目標としています。

◎カリキュラムは、

(一日目)

開講／挨拶

1 オリエンテーション(チャレンジ目標説明)

2 自己紹介

3 求められている人材とは
4 社会人として求められる

基本マナー

第一印象と好感度5原則

・身だしなみ、言葉づかい電話

応対OK方式テスト体験

(二日目)

5 社会人として求められる

基本マナー

電話対応OK方式テスト成功

体験・伝言メモ、ビジネス文書

メールマナー

挨拶、表情、物の授受、名刺の交換

お茶出し

応接室、車、和室の上位席、階段、エレベーターマナー

チャレンジ目標作成

7 まとめ

閉会／挨拶

今回の独自の研修というスタイル強化を図り、都度考えさせながら「なぜ？」を大切に進行し、考える癖をつけることができました。

◎研修会の目的と概要

基礎基本の三原則

習得・探求・活用

「習得」

・好感度5原則から、職場でのマナー

・報告・連絡・相談から仕事の基本ルール

「探求」

・仕事に取り組む姿勢

・社会性とは

・人間関係を円滑にするためには

「活用」

・体験することでの

・チャレンジプログラムでの継続

以上、社会人としての基本的な要素を目的に行われました。そして、最後に各自がチャレンジ目標を作成しました。

十月には、フォローアップ研修を開催し、チャレンジ目標の成果を持参、発表などの研修を実施することになっています。

【新入社員から一言】

- ・チャレンジ精神を絶やさない。
- ・電話は積極的に取りに出る。
- ・プライベートの大切さ。
- ・ハウレンソウを徹底する
- ・人の目を見て話す。言葉遣いに気を付ける。
- ・元氣よく挨拶ができている。
- ・5W2Hを基礎とする。
- ・遅刻をしない、身だしなみに気を付ける
- ・整理整頓を徹底する。
- ・指示を的確に把握し、正確に仕事を行う

【上司から一言】

- ・メモをとりすぎて会話にならない。
- ・積極的な挨拶、笑顔を絶やさない。
- ・5W2Hを忘れず要点をまとめて書く。
- ・自分の健康管理はしっかりと。等々。

【講師から一言】

今年の新入社員はまじめに取り組む姿勢とともに明るく伸び伸びとしています。

各社人事総務ご担当者様

新入社員フォローアップ研修を十月に行いますので、お忙しいとは存じますが、是非一度ご見学にお越しく下さい。

また、各社で評価者研修、会話力向上研修等のご希望がありましたら事務局までお問合せください。



人事・往来

人事往来

◎ミヨシ油脂株式会社

平成二十八年三月二十九日
千葉工場長 村川 衛 (新任)
異動 吉田 雅俊

◎不二製油株式会社

平成二十八年四月一日
千葉工場長 石井 壽久 (新任)
異動 大野 政弘 (大阪 本社)

◎千葉埠頭サイロ株式会社

平成二十八年五月二十五日
常務取締役 野崎 延明 (新任)
◎美浜フーズ株式会社
平成二十八年五月二十六日
代表取締役社長 岡 慎一 (新任)

◎千葉共同サイロ株式会社

平成二十八年六月二十一日
取締役 泥谷 英樹 (新任)
◎千葉製粉株式会社
平成二十八年六月二十七日
常務取締役 加瀬 晴久 (新任)
常務取締役 芝山 浩二 (新任)

◎サミット製油株式会社

平成二十八年六月二十九日
代表取締役社長 金澤 範和 (新任)

(この項はご通知を頂いたもので関係ある異動のみを掲載いたしました)

環境美化活動

食品工業団地内の環境美化を目指し、道路上の「空き缶・タバコ・ゴミの投げ捨て」をなくす活動を平成十九年四月から実施してまいりました。会員各社のご協力によりまして活動の成果を上げています。

具体的な活動は、毎月第三水曜日に九時から三十分を一斉清掃日としています。

今年度も活動を継続して環境美化に努めたいと考えています。

なお、この活動については、農林水産省、千葉県に提出の「食品工業団地実施状況報告書」にも記載しております。環境美化活動に会員各社のご理解・ご協力をお願い致します。

(陸上部会)

一人ひとりの心掛けで、町を美しく...

空き缶・タバコ・ゴミの投げ捨てはやめましょう。

(社)千葉食品コンビナート協議会

毎月第三水曜日 一斉清掃実施

C F C 野球大会日程表 (平成 28 年度)



月 日	曜日	会 場 他	備 考
8月24日	水	14 時 千葉製粉会議室	キャプテン会議
9月23日	金	ポートプラザ	前夜祭 (開会式)
9月25日	日		1 日目 新港公園
10月 2 日	日		2 日目 新港公園
10月 9 日	日		3 日目 新港公園
10月16日	日		4 日目 新港公園
10月30日	日		5 日目 新港公園
11月13日	日		6 日目 新港公園
11月20日	日		7 日目 新港公園

千葉県臨海北部工業連絡協議会に参加して

平成二十七年年度千葉県臨海北部工業連絡協議会 (千葉県商工労働部産業振興課産業企画室が事務局) は、二月十二日に研修会 (県外視察) で「リサイリルプラザJ B」を見学、飲料自動販売機のジャパンビバレッジグループが省エネ・環境保護を考え二〇〇三年に設立した飲料容器のリサイクル施設を見学。



午後からは、「東日本旅客鉄道株大宮総合車両センター」へ、ここは、自動車車を車検に出すのと同じで、鉄道車両も定期的に受ける。東京ドーム三個分の基地では、首都圏を走る車両 (通勤電車、踊り子号、成田エクスプレス、カシオベヤ等々) の検査・修繕・回収作業を行い、当日は、D51の車両を点検、機関車の中を見せていただき、鉄道ファンは大喜び。

今回の視察には二十四名の参加、食品コンビナート協議会会員からは四名参加しました。



【写真提供】

新東日本製糖 (株)
本多 伸一 氏



*千葉県臨海北部工業連絡協議会

千葉県商工労働部産業振興課産業企画室が事務局となり、千葉市、習志野市、船橋市、市川市及び浦安市の各、団体が構成されており、研修会、県内、県外視察研修 (工場見学等) を実施している協議会です。

千葉市新港地区連絡協議会

千葉市長熊谷俊人氏講演会開催

講演内容

「東京オリンピック・パラリンピックに向けての千葉市の取り組みについて」

平成二十八年六月三十日オークラ千葉ホテルにて、新港地区連絡協議会主催の講演会を開催しました。講演後、千葉市産業振興財団から「従業員の福利厚生について」の説明会、総会、懇親会の運びとなりました。参加者は五十名を超え盛況裏に終えました。

【講演内容の概要】

二〇二〇年、東京オリンピックでは幕張メッセにて、レスリング、フェンシング、テコンドーの会場として、また、東京パラリンピックでは、車椅子フュンシング、テコンドー、ゴルフボール、シッティングバレーボールの会場となっています。

重点的な取り組みとして、大会の成功を実現する、スポーツ文化を普及し発展させる、多様性に対応した共生社会を実現する、千葉市の魅力を高め、集客・宿泊を最大化する。

先端技術を活用したドローンによる宅配サービス・セキュリティ。

最後に千葉ポートアリーナに多目的コートを整備したので、車椅子バスケットボールを一人でも多くの方にご覧いただけますようにと締めくくりました。

講演内容の詳細な資料を希望される方は事務局までお申し出ください。

*新港地区連絡協議会

千葉市美浜区新港地区は、工業用途地区として分譲された地域です。

しかし、昨今の経済状況等により、交通渋滞、集合住宅、路上駐車などの諸問題の発生により、新港地区で操業する企業を取り巻く状況が大きく変化し、操業環境の悪化をもたらす恐れが懸念されるどころです。

こうした現状を踏まえ、今後の対応策を協議・検討し、新港地区を将来に向けても工業集積地として維持していくため、新港地区内の工業系団体間の調整機構として設立されました。

*構成団体（七団体）

- ① 新港工業団地自治会
- ② 新港222自治会
- ③ 新港木材団地自治会
- ④ 千葉市新港自動車団地自治会
- ⑤ 新港協栄会
- ⑥ 千葉市新港中央地区連絡協議会
- ⑦ 千葉食品コンテナート協議会



第86回 CFCゴルフ大会

第八十六回CFCゴルフ大会は、平成二十八年七月十七日（日）袖ヶ浦カントリークラブ新袖コースにおいて行われた。

当日、天候に恵まれ絶好のプレー日となりました。参加者は二十三名となり、初参加は九名で懇親を深めた大会となりました。

優勝は宮迫義男氏（不二製油株）が

二位は加藤明氏（日本サイロ株）、三位には初出場の石井壽久氏（不二製油株）

ベストは八十八の平野啓二氏（サミット製油株）

二位の宮迫義男氏が獲得した。

左：二位の宮迫義男氏
右：優勝の加藤明氏

一般社団法人 千葉食品コンビナート協議会 会員一覧

平成28年 4 月 1 日現在

NO	事業所名	郵便番号	所在地	電話番号
1	刈込外酵母工業株式会社 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港 8-2	043-244-6111
2	株式会社 関電工 配電本部 千葉配電支社	261-0002	千葉市美浜区新港 46	043-244-5215
	〃 東関東営業本部 千葉支社	260-8558	千葉市中央区新宿 2-1-24	043-370-4659
3	関東港業株式会社 千葉営業所	261-0002	千葉市美浜区新港 58-2	043-241-1721
4	関東砂糖株式会社 (本社)	104-0033	東京都中央区新川 2-9-1 新川 KHビル 4 階	03-3555-1909
	〃 千葉支店	261-0002	千葉市美浜区新港 13	(代) 〃
5	サミット製油株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港 38	043-242-3351
6	サミット美浜パワー株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港 35	043-238-7997
7	白鳥製菓株式会社 (本社)	275-0024	習志野市茜浜 2-3-7	047-453-3161
	〃 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港 54	043-242-7631
8	新東日本製糖株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港 36	043-242-8641
9	大東製糖株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港 44	043-302-3108
10	千葉共同サイロ株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港 16	043-241-1231
11	千葉県米穀株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港 10	043-242-6151
12	千葉製粉株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港 17	043-241-0111
13	千葉埠頭サイロ株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港 17	043-248-2226
14	株式会社 ニチレイフーズ	261-0002	千葉市美浜区新港 9	043-248-2107
15	日新製糖株式会社	103-8536	東京都中央区日本橋小網町 14-1	03-3668-2422
	〃 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港 52	(代) 〃
16	日清製粉株式会社 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港 8-1	043-246-7101
17	一般財団法人 日本穀物検定協会	261-0002	千葉市美浜区新港 60-2	043-241-9308
18	日本サイロ株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港 3-2	043-241-0316
19	日本タンクターミナル株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港 2-1	043-238-6211
20	日本通運株式会社 千葉中央支店	261-0002	千葉市美浜区新港 153	043-247-0202
21	日本甜菜製糖株式会社	108-0073	東京都港区三田 3-12-14 ニッテン三田ビル	03-6414-5522
	〃 千葉物流センター	261-0002	千葉市美浜区新港 30	043-301-7714
22	ニューポート産業株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港 50	043-246-5502
23	株式会社 ネオテック	261-0002	千葉市美浜区新港 28-1	043-247-9101
24	株式会社 フロンティア	261-0002	千葉市美浜区新港 42-4	043-301-8338
25	古谷乳業株式会社	260-0026	千葉市美浜区千葉港 7 番 1 号	043-241-0331
26	不二製油株式会社 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港 35-1	043-204-3399
27	株式会社 マルハニチロ物流 千葉物流センター	261-0002	千葉市美浜区新港 1-3	043-241-6111
28	株式会社 美浜フーズ	261-0002	千葉市美浜区新港 12	043-247-1553
29	ミヨシ油脂株式会社 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港 2-5	043-247-3440
30	向島運送株式会社 千葉美浜事業所	261-0002	千葉市美浜区新港 27	043-203-5201
31	山崎製パン株式会社 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港 22	043-246-7111
32	理研ビタミン株式会社 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港 56	043-243-1122
	(計 32 社)			